

I NPJ 及び特別活動の充実

内容 Studio N（七重小学校での初任段階研修の場）の取組及び日々の授業改善・児童理解等の実践について



1 目的（取組の意義）について

（1）週1回の初任段階研修の実施

目的：初任段階教員の不安軽減のため、七小スタイルを意識した授業づくりの理解・実践のため

（2）指導教官やゲストティーチャーによる研修

目的：学習指導面、生徒指導面など、様々な視点から指導方法を学ぶため。

（3）初任段階教員による講義・演習等

目的：初任段階教員同士が学び合う・高め合う場を設定し、指導力を向上するため。

（4）個人・学年団での共有・意識化

目的：学年団の中で指導の差が生まれぬよう、打ち合わせなどで指導方法等を共有化するため。

2 内容について

（1）授業改善

・**シャドーイング研修**＝先輩教諭の学級に入り、立ち振る舞いや指導方法を観察することで、指導の意図を指導教諭・授業者から学ぶ研修のこと。

【担任の動きを観察】→いつ、何をしているのか。なぜしているのか。何のために誰のためにしているのか。
机間指導（ルート 回数 声かけ） 指名など。

【授業づくり】 →導入・展開時・まとめ・ふりかえり・発問

【その他】 →子どもの表情・教室環境・掲示物

・**指導教官やゲストティーチャーによる研修**

＝図工の指導・理科の指導・食育の指導…様々な教科のスペシャリストから流儀を学ぶ。

・**初任段階教員による講義・演習等**

＝授業実践のデモンストレーション（第5学年体育科「パラパラ」）、研修報告、講義等

・**授業研の実施**

＝授業公開「低・中・高・特」から1名ずつ実践、事後研修（今年度は教科内容は問わない）

※昨年度は、道徳の授業研を実施。授業研の前には、studioNの中で授業の流れを共有、授業案検討

（2）児童生徒理解

・**ソーシャルスキルトレーニング**＝靴を履かない児童に声かけ練習

（3）歳の近い仲間との関わり

・金曜日の仕事終わりの食事 ・女子会・男子会 ・歓迎会などの飲み会 ・バーベキュー（予定）

3 成果・課題・今後の方向性等

【成果】

・授業スキルや子どもとの関わり、保護者対応など大学では学べないことを学ぶことができています。（実践してみて気づくことが多い）

・基礎基本（七小スタイル）の理解・実践

・異学年の指導方法の共有（情報交換の充実）・次年度への活用

・授業計画の相談・アドバイスを生かした授業の実践

・歳が近い仲間同士の仲の深まり（プライベートの充実）

【課題】

・アドバイス（学んだこと）を生かしきれないことも多々…

＝折れずに実践と反省の繰り返しが必要不可欠。

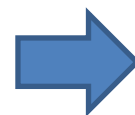
・先が見えないことへの不安

＝上手くいったことも、失敗したこと等、何でも学年団の先生に報告。（“ほうれんそう”を大切に）

【今後の方向性】

・studioNで学び続ける機会の継続

・指導力の向上



これら全ては、
学級経営にも
生きている！